



上海交通大学と産業技術大学院大学との 学術協力及び交流に関する協定の締結について ～仮想企業によるアジア専門職人材教育ネットワークの構築を目指して～

産業技術大学院大学（学長 石島辰太郎）は、平成22年1月29日、教育・研究水準の向上と交流の拡大を図るため、上海交通大学と大学間協定を締結した。

今後、両大学は、教員や学生の教育・研究に関する交流を実施していくとともに、アジア地域の大学、企業をターゲットにしたアジアにおける高度専門職人材育成の教育ネットワークを構築していく。具体的には、大学及びパートナー企業で構成する仮想企業に学生が参加するPBL教育（Project Based Learning）形式の授業を推進することについて検討を進める。

産業技術大学院大学では、昨年9月にも、ベトナム国家大学との大学間協定を締結し、産業技術大学院大学のPBL教育のノウハウを活用した教育プログラムの構築に取り組んできた。

今回新たに、中国の上海交通大学と協定を締結することにより、アジア諸国の大学との協力関係をさらに強固にしていくとともに、今後とも、他のアジア諸国に産業技術大学院大学の教育を発信していく。

【協定締結の目的】

- 教育及び研究の交流を通じて、両大学の研究・教育水準を高め、交流の拡大を図ることを目的とする。

【協定に基づく主な協力事項】

- 両大学に在籍する教員・研究者の教育及び研究交流
- 両大学に在学する学生の交流（具体的な内容は、別途覚書又は協定を締結して実施する。）
- 国際共同教育に関する研究及び連携
- 共同研究、シンポジウム等の企画及び実施
- 学術的な文献、出版物、情報の交換
- その他両大学が合意した事業

お問い合わせ先 産業技術大学院大学管理課
TEL：03—3472—7831

【別紙】

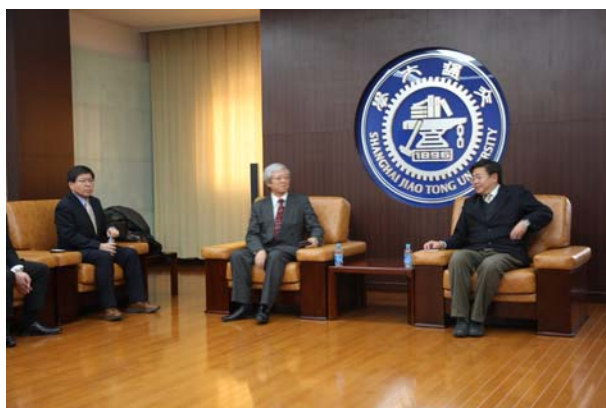
◆ PBLとは

- Project Based Learning の略。問題解決型学習による教育手法であり、複数の学生が協力し、明確な目標を掲げて1つのプロジェクトを完成させていくことで、IT業界及びものづくり業界で真に役立つスキルやノウハウを身に付けることができる。本学では5名程度のグループに分かれ、3名の指導教員がついて実施している。また、机上の空論ではなく、地に足のついたテーマ選びが特徴である。
- 本学では、PBLの実施に当たって、専門職大学院に相応しい、より最新かつ実践的な教育内容とするため、産業界等の識者を招いて、PBL検討部会を設置している。
- PBLは我が国において、教育実践例が未だ十分積み上がっていない教育手法であり、本学がPBL開発の先駆者としての役割を担うことが期待されている。

◆ 上海交通大学の概要

- 上海交通大学とは、中華人民共和国の国務院直属の国立総合大学で、「985工程」（研究活動の質を国際レベルに上げるために、限られた大学に重点的に投資していくとしたもの）が適用される大学の一つである。19世紀末の開学以来、自然科学分野及び人文科学分野の研究活動の質的向上に努めているほか、アメリカ合衆国を初めとする国外の大学や団体との交流にも力を入れている。
- 人材育成にも重点的に取り組み、政治分野、科学分野等に多数の著名人を輩出しており、江沢民の出身校としても知られる。
- 上海交通大学の高等教育研究所が毎年発表する世界の大学ランキングは、自然科学分野に重点がおかれた形でのランキングとして世界的に著名である。

◆ 写真



上海交通大学にて